

ユニークで さり気なく ～ 人生の生きる意味 ～

2025 年 8 月 24 日(日)午前中は、【KBF(Kurume Bible Fellowship) in CAJ(Christian Academy in Japan)】に出席した。 午後は、定例の『東久留米がん哲学外来』(画像)(CAJ のキャンパス)、その後は、『読書会』(画像)(East Side カフェ)に赴いた。『東久留米がん哲学外来』は、2008 年からスタートし、読書会は 2007 年からスタートした。 継続の大切さを実感する日々である。

『東久留米がん哲学外来』では、初参加の方もおられ、大変有意義な時となった。

【お茶を飲みながら、患者さん、ご家族、お友達、医療者が対話する場です。並行して、樋野興夫先生との個別面談を行っています。(無料・要予約)】と紹介されてる。

読書会は、【新渡戸稲造(1862-1933)著『武士道』(1899年;矢内原忠雄訳) & 内村鑑三(1861-1930)著『代表的日本人』(1908年;鈴木範久訳)】交互に行っている。【新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めております。リーダーは順天堂大学名誉教授・一般社団法人がん哲学外来名誉理事長で新渡戸稲造記念センター長の樋野興夫先生です。樋野先生のユニークでわかりやすい解説とさり気なく語られるメッセージに励まされ、人生の生きる意味をあらためて考えるひとときになります。どなたでもご参加いただけます。みなさまの参加をお待ちしております。】(画像)とある。大いに感動する。

今回の『読書会』は、【新渡戸稲造著『武士道』(1899年;矢内原忠雄訳)】の第10章『武士の教育および訓練』であった。『教育の主目的は ーーー 品性の確立にあつた ーーー』&『我を生みしは父母である。我を人たらしむるは師である』の復習となった。多数の質問あり大変貴重な時となった。本当に日々勉強である。

その後、参加者と隣りのレストラン『ルチア』で夕食の時を持った。充実した有意義な1日となった。

# 東久留米がん哲学外来

“がんの悩みを心おきなく話したい”

お茶を飲みながら、患者さん、ご家族、お友達、医療者が対話する場です。  
単行して、樋野典夫先生との個別面談を行っています。（無料・要予約）

【2025年、2026年 日程】

2025年: 2月23日 3月23日 4月27日  
5月25日 6月22日 7月27日 8月24日  
9月28日 10月26日 11月16日 12月14日  
2026年: 1月18日 2月22日 3月22日

☆ 日曜 13時～15時 参加費無料 要予約

【場所】

クリスチャンアカデミーインジャパン内  
(東久留米東口より徒歩5分)



◎面談、メディカルカフェに参加希望の方はホームページより必ずご予約ください。

【連絡先】東久留米がん哲学外来

メール [higashikurume.gg@gmail.com](mailto:higashikurume.gg@gmail.com)

ホームページ <https://www.higashikurume-gantetsu.com/>

ホームページQRコードはこちら



主催 東久留米がん哲学外来  
後援 一般社団法人がん哲学外来

## 武士道読書会のお知らせ

新渡戸稲造『武士道』（岩波文庫、矢内原忠雄訳）と内村鑑三『代表的日本人』（岩波文庫、鈴木範久訳）を交互に読み進めております。  
リーダーは順天堂大学名誉教授・一般社団法人がん哲学外来名誉理事長で新渡戸稲造記念センター長の樋野典夫先生です。  
樋野先生のユニークでわかりやすい解説とさり気なく語られるメッセージに励まされ、人生の生きる意味をあらためて考えるひとときになります。  
どなたでもご参加いただけます。みなさまの参加をお待ちしております。

～2025年1月から2026年3月までの日程～

毎月・日曜日 15:30～17:00

1月26日 2月23日 3月23日 4月27日  
5月25日 6月22日 7月27日 8月24日  
9月28日 10月26日 11月16日 12月14日  
2026年 1月18日 2月22日 3月22日

※11月23日より16日に変更になっています

場 所: 東久留米駅東口1分『イースト サイド カフェ & ダイニング』

インド料理ルテラ隣(東久留米市新川町 1-3-6-2F)

参加費: 会費なし

※場所は変更することがありますので三国まで連絡ください(080-5643-7265)

